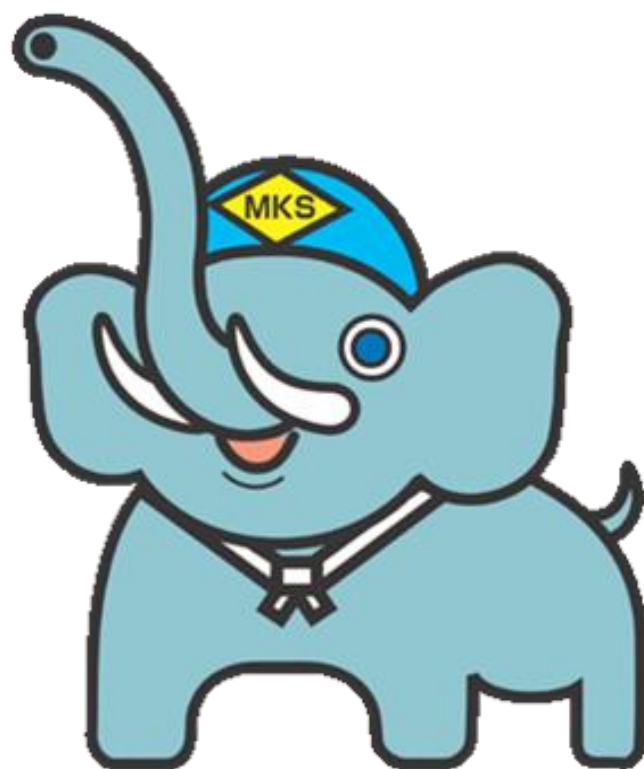


エコアクション21 2016年度 環境活動レポート

(対象期間：2015年10月1日～2016年9月30日)



発行：2016年10月28日



目 次

	ページ
[1] 環境方針	(2)
[2] 事業活動の概要 事業活動と環境活動の取組みの流れ 対象事業所(全社)	(3)
[3] 環境目標と主要な環境活動計画および全社達成率	(4)
[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価	
1. 管理部門	(5)
2. 厚板営業部門	(6)
3. 生産部門	(7)
4. 倉庫部門	(8)
5. 薄板営業部門	(9)
[5] 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	(10)
[6] 環境目標項目別の評価と次年度の取組内容 今後の環境目標	(10)
[7] 代表者による総評	(10)

[1] 環境方針

<基本理念>

当社の事業活動が地域および次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

<基本方針>

この理念のもと、当社が行う各種コイルの切断加工並びに販売および倉庫業に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を全組織で推進する。

1. 事業活動の全領域で、省資源・省エネルギー・資源リサイクル・公害防止に配慮した活動を行い、グリーン購入にも努める。
2. 環境経営システムと環境保全の改善を継続的に推進する。
3. 環境関連の法規制、条例および当社が賛同するその他の事項を遵守する。
4. 次の項目を環境保全の重要項目として目標を設定し、取組み結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組む。
 - ① 省資源、省エネルギーの推進(CO₂排出抑制)
 - ② 廃棄物の削減
 - ③ 水使用量の削減

平成20年3月3日制定

平成23年2月1日改定

平成27年2月6日改定

村山鋼材株式会社

代表取締役社長 **村山 和雄**

[2] 事業活動の概要

事業所名	村山鋼材株式会社
代表者	村山 和雄(代表取締役社長)
所在地	〒279-0012 千葉県浦安市入船1-5-2 NBF新浦安タワー 15F
環境管理責任者	小林 伸治(薄板営業部長)
連絡先	EMS21事務局 刈屋 千江子(総務部 課長代理) TEL: 047-305-6112 FAX: 047-305-8900 E-mail: soumu@mks-gr.co.jp
従業員数	全社: 105名
売上高	107億円(平成28年9月30日:全社第64期)
事業内容	コイルの切断加工並びに販売、営業倉庫業、太陽光発電事業 営業倉庫業許可番号: 開運倉第225号

事業活動と環境活動の取組みの流れ

1942年 3月	本社創業(東京都大田区森ヶ崎)
1952年 10月	村山鋼材シャーリング(株)設立(村山鋼材(株)の前身)
1972年 6月	東京第二工場開設(東京工場)
1974年 7月	東京工場のジャンボ・カッティング・ライン(JCL-1)操業開始
2007年 12月	環境経営システム(EA21)講習会参加
2008年 1月	弊社はEA21ガイドライン2004年版による活動をEMS21と称し、 環境経営システム(EMS21)の組織を構築(本社及び東京工場)
2009年 1月	エコアクション21 認証登録を取得
2012年 6月	JCL-1を浦安工場へ移設し、東京工場を閉鎖
2013年 2月	本社事務所を浦安へ移転
2013年 10月	茨城県牛久市へ太陽光発電所を開設

対象事業所(全社)

管理部門	〒279-0012 千葉県浦安市入船1-5-2 NBF新浦安タワー 15F	TEL: 047-305-8008
厚板営業部門	〒279-0024 千葉県浦安市港47	TEL: 047-350-1171
北関東営業所	〒300-1222 茨城県牛久市南1-6-4	TEL: 029-886-3748
生産部門	〒279-0024 千葉県浦安市港47	TEL: 047-350-0869
倉庫部門		
浦安倉庫	〒279-0025 千葉県浦安市鉄鋼通り2-6-13	TEL: 047-380-1171
船橋倉庫	〒273-0016 千葉県船橋市潮見町20-1	TEL: 047-495-1171
牛久太陽光発電所	〒300-1283 茨城県牛久市奥原町1650-77	
薄板営業部門	〒144-0033 東京都大田区東糀谷3-14-10	TEL: 03-3743-5161
西東京営業所	〒208-0035 東京都武蔵村山市中原1-8-1	TEL: 042-520-6761
神奈川営業所	〒210-0864 神奈川県川崎市川崎区池上町1-19	TEL: 044-270-2227

[3] 環境目標と主要な環境活動計画および全社達成率

管理部門、厚板営業部門、生産部門、倉庫部門、薄板営業部門の事業計画に於ける環境への負荷を低減するために、従業員一同が取組んでいる環境目標と主要な環境活動内容は、以下の通りである。

次年度以降についても、原則として同様の内容で活動に取り組む。

環境目標項目	単位	2016年度（64期）			判定
		目標値	実績値	達成率[%]	
省資源の推進					
コピー用紙購入量の削減	冊	849	819	104	○
グリーン購入の推進	%				/
品目／品目中	品目	—	121/251	—	
水資源の削減	m ³ /年	1,610	1,807	88	×
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、産廃)					
省エネルギー					
電気使用量の削減(生産部以外)	kWh/月	27,208	23,829	112	○
電力原単位の向上(生産部)	kWh/t	7.77	6.97	110	○
社有車の燃費向上					
ガソリン	km/l	14.90	15.93	107	○
軽油	km/l	5.88	5.71	97	×
廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物	kg	3,160	2,766	112	○
産業廃棄物	kg	4,046	2,560	137	○
二酸化炭素排出量					
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	—	992,729	—	/
レーザー鋼板用の加工技術の推進					
	—	—	—	—	継続中

※東京電力㈱の二酸化炭素の実排出係数は、0.505 kg-CO₂/kWh。

(2015.11.30公表の環境省報道発表資料より)

※2016年度の全社二酸化炭素総排出量は、992,729 kg-CO₂。

※2013年度より、全事業所が対象。

※グリーン購入と二酸化炭素排出量については、目標値を策定しません。

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(1)

1. 管理部門

事業年度:前年10月～当年9月

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2016年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水他)				
コピー用紙購入量削減 (1冊:A4用紙500枚)	冊	目標値	233	×
		実績値	280 (+47)	
グリーン購入の推進	%	実績値	34品目/72品目中	
[評 価]	<p>《達成率》・コピー:80%</p> <p>・コピー用紙購入量削減 : 裏紙使用は、普段から心がけていて、削減努力はしているが、工場見学や提出書類が増えた事もあり、達成できなかった。</p> <p>・グリーン購入の推進 : 目標値は策定しないが、引き続き対象商品から購入するようにする。</p>			
省エネルギー				
電気使用量の削減	kWh/月	目標値	1,233	×
		実績値	1,366 (+133)	
[評 価]	<p>《達成率》・電気:89%</p> <p>・電気使用量の削減 : 必要なところしか照明も使用せず、休憩時間なども消灯しているが、削減には限界があり、目標値の見直しも必要である。</p>			
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、産廃)				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	387	×
		実績値	559 (+172)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	8,276	
[評 価]	<p>《達成率》・一般廃棄物:56%</p> <p>・一般廃棄物の削減 : 可燃ごみの一部を溶解処理に回し、リサイクル化して削減に努めたが、結果的には未達となった。極力、ゴミ袋に最大限いれてから出すようにし、排出量を抑える。</p> <p>・二酸化炭素排出量の削減 : 64期より目標値の策定はしないが、前年比3%増となった。 管理部門の二酸化炭素の排出量は、購入電力のみなので、引き続き節電に努める。</p>			

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(2)

2. 厚板営業部門(北関東営業所を含む)

事業年度:前年10月~当年9月

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2016年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水他)				
コピー用紙購入量削減 (1冊:A4用紙500枚)	冊	目標値	288	×
		実績値	300 (+12)	
グリーン購入の推進	%	実績値	38品目/76品目中	
[評 価]	<p>《達成率》・コピー:96%</p> <p>・コピー用紙購入量削減 : 前期に引き続き取扱量の増加に伴い使用量は増加しているが、裏紙使用率を向上させた効果によって前期より大幅な改善が図れている。(前期実績:332冊)今後も今季活動の継続と共にペーパーレス化の検討推進も重要である。</p> <p>・グリーン購入の推進 : 引き続き物品購入の際グリーン購入を心掛け、経費を抑えていくことを優先する。</p>			
省エネルギー				
電気使用量の削減	kWh/月	目標値	2,439	×
		実績値	2,635 (+196)	
社有車の燃費向上	km/ℓ	目標値	13.83	○
		実績値	15.52 (+1.69)	
[評 価]	<p>《達成率》・電気:92%、・燃費:112%</p> <p>・電気使用量の削減 : 女性社員に半袖の制服を採用、事務所屋根へ遮光・遮熱シートを附設する等夏場の省エネ対策を講じてきたが、要員の増加による執務室拡張によりエアコン・照明の使用量増加のために思ったより削減効果は無かった。環境の変化を考慮して今期の実績を基に目標値の変更が必要と思われる。</p> <p>・社有車の燃費向上 : 今後もエコドライブを励行して更なる燃費向上を目指す。</p>			
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、産廃)				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	390	○
		実績値	247 (-143)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	65,213	
[評 価]	<p>《達成率》・一般廃棄物:137%</p> <p>・一般廃棄物の削減 : 古紙溶解リサイクル出しの成果で実績は前期より大幅な改善がなされている。(前期実績:320)今後も継続実施すると共に排出量の削減を意識して活動を推進して行く。</p> <p>・二酸化炭素排出量の削減 : 今期の実績は前期に比べて電気使用量の増加が要因で排出量が増加している。(前期実績:58,737)電気使用量の削減対策を検討推進して削減に努めて行く。</p>			

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(3)

3. 生産部門

事業年度:前年10月～当年9月

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2016年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水)				
生活用水の削減	m ³	目標値	956	○
		実績値	928 (-28)	
[評 価]	<p>《達成率》・水:103%</p> <p>・生活用水の削減 健康管理のため「こまめな手洗い・うがい」を推進中であるが、使用量削減の注意喚起を行い使用者のエコ意識醸成の結果、目標値が達成出来た。今期も引き続き節水のピーアールを行っていく。 [生活用水(水道)については、同一敷地内の厚板営業部門が単独で管理できないため、生産部門に含む。]</p>			
省エネルギー				
電力原単位向上	kWh/t	目標値	7.77	○
		実績値	6.97 (-0.80)	
[評 価]	<p>《達成率》・電力原単位:110%</p> <p>・電力原単位向上 ライン稼働率向上と設備能力の維持管理、日常の電気使用量管理、を徹底した結果目標値を達成することが出来た。今後も継続して維持管理を行っていく。</p>			
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、産廃)				
産業廃棄物の削減	kg	目標値	4,046	○
		実績値	1,710 (-2,336)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	681,557	
[評 価]	<p>《達成率》・産廃:158%</p> <p>・産業廃棄物の削減 産業廃棄物の排出量は例年通りで目標は達成している。今後も最適な使用量を確保しつつ排出量を管理して行く。</p> <p>・二酸化炭素の排出量の削減 電力使用量削減・原単位向上効により、前期より排出量の削減が図られている。今後も諸活動を継続実施すると共に更なる削減努力を行う。</p>			

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(4)

4. 倉庫部門(浦安倉庫および船橋倉庫)

事業年度:前年10月～当年9月

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2016年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水他)				
コピー用紙購入量削減 (1冊:A4用紙500枚)	冊	目標値	107	○
		実績値	55 (-52)	
グリーン購入の推進	%	実績値	9品目 / 15品目中	/
生活用水の削減	m ³	目標値	186	×
		実績値	200 (+14)	
[評 価]	<p>《達成率》・コピー:149%、・水:92%</p> <p>・コピー用紙購入量削減 : 昨年に比べて半分以下の購入量になっている。ペーパーレス化がここまで推進できたのは、驚異に値する。今後も継続していく。</p> <p>・グリーン購入の推進 → 目標値は策定せず。</p> <p>・生活用水の削減 : 節水に努めているが、出入りの運転手等が増えたので、使用量が少し増えた。</p>			
省エネルギー				
電気使用量の削減	kWh/月	目標値	19,879	○
		実績値	16,308 (-3,571)	
[評 価]	<p>《達成率》・電気:118%</p> <p>・電気使用量の削減 : 不要な照明等の消灯と、作業集約による効率UPが効を奏したと思われる。 昨年の夏に1F事務所の室内照明をLED化したことが、節電効果をあげている。</p>			
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、一般廃棄物)				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	1,970	○
		実績値	914 (-1,056)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	99,779	/
[評 価]	<p>《達成率》・一般廃棄物:154%</p> <p>・一般廃棄物の削減 : 紙類などを溶解処理(リサイクル)に回して、削減を推進した。</p> <p>・二酸化炭素排出量の削減 : 64期より目標値の策定はしないが、昨年の排出量より約15%減となった。</p>			

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(5)

5. 薄板営業部門(西東京営業所および神奈川営業所を含む)

事業年度:前年10月~当年9月

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2016年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水他)				
コピー用紙購入量削減 (1冊:A4用紙500枚)	冊	目標値	221	○
		実績値	184 (-37)	
グリーン購入の推進	%	実績値	40品目/88品目中	/
生活用水の削減	m ³	目標値	468	
		実績値	679 (+211)	×
[評 価]	<p>《達成率》・コピー:117%、水:55%</p> <p>・コピー用紙購入量削減: 使用済みの裏紙だけではなく、読後の黄色い新聞を裏紙として使用したこともあり、目標達成に繋がった。</p> <p>・グリーン購入の推進: 不必要な物品購入を控え、購入する際は、対象商品を選ぶようにする。</p> <p>・生活用水の削減:[薄板寮を含む] 薄板事務所(寮含む)と西東京(営)での生活用水の増加があり、再度地道に(寮生を含み)節水を促して行きたい。</p>			
省エネルギー				
電気使用量の削減	kWh/月	目標値	3,657	○
		実績値	3,520 (-187)	
社有車の燃費向上	km/ℓ	目標値	ガソリン: 15.97、軽油: 5.88	×
		実績値	ガソリン: 16.88 (+0.91)、軽油: 5.71 (-0.17)	
[評 価]	<p>《達成率》・電気:104%、・燃費:ガソリン106%、軽油97%</p> <p>・電気使用量の削減: 事務所室内の照明をLEDにした事により、昨年に引き続き安定した使用量になっているが、これに甘んじず、エアコン等の日々の節電に努力して行きたい。</p> <p>・社有車の燃費向上: 昨年より、ガソリン、軽油車共に燃費は向上している。運転者にエコドライブ10か条が、浸透した結果であると共に、来年輕油車を2台入替える予定なので燃費向上に繋げて行きたい。</p>			
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、一般廃棄物)				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	413	×
		実績値	1,046 (+633)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	144,826	/
[評 価]	<p>《達成率》・一般廃棄物:-53%</p> <p>・一般廃棄物の削減: 目標未達成。昨年来、大幅に目標と実績に差が有る為、ゴミの内容分析をする。</p> <p>・二酸化炭素排出量の削減: 給湯用の都市ガスと軽油車の使用が増えた事と、PCの入替によりプリンターをまとめて処分した為、昨年より産業廃棄物の排出量が増えてしまった。</p>			

[5] 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の2016年度に於ける環境関連の適用法令について、遵守していることを確認しました。尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間なし。

[6] 環境目標項目別の評価と次年度の取組内容

燃費について昨年の実績と比較すると、ガソリン・軽油車共に向上しており、各ドライバーがエコドライブ10か条を推進していること、エコ意識の高さがもたらした結果として評価出来ます。

軽油車は残念ながら目標を未達でしたが、次年度に2台更新の予定もあり、更新効果に期待したい。

グリーン購入の推進については、「不必要な物品は買い控え、必要最小限の購入に努める」という従来の基本方針に沿って、更なる経費削減を図って行きます。

水資源の削減については、一時的な工事等による大量使用の場合はやむを得ない。

また、「手洗いとうがい」については健康管理のために推進中であり削減は難しい。そこで、今後は生活水の節水について注視・注力した活動を推進する。各部門別に人員の増加や異動といった環境の変化を調査し、その結果を考慮して目標値の見直しを図りつつ節水の徹底、努力をして行く。

今後の環境目標

2014年度を基準として、年1%ずつ削減していく。

		年度	2014	2015	2016	2017
削減率		単位	基準	-1%	-2%	-3%
水		m ³	1,644	1,628	1,611	1,595
廃棄物	一般	kg	3,224	3,192	3,160	3,127
	産業	kg	4,130	4,089	4,047	4,006
電気(生産部以外)		kWh	339,472	336,077	332,683	329,288
増加率		単位	基準	+1%	+2%	+3%
燃費	ガソリン	km/ℓ	14.61	14.76	14.90	15.05
	軽油		5.76	5.82	5.88	5.93
グリーン購入		—	目標値は策定せず、実績値で管理			
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂				

[7] 代表者による総評

EA21の活動も9年目に入り、この間、各部門の人の異動や増員に伴い、特に水の使用量について見直しの時期に来ていると感じる。しかし、衛生上の問題にも関連するが、生活水については再度節水努力を怠ることなく、可能な限り使用量を抑える様にする。

燃費については、軽油車も昨年より2.5%向上しており、来年にかけて、2台入替を予定している事から、引続きエコドライブ10か条を遵守し、地道な活動を継続しながら、目標達成に繋げてもらいたい。

昨年、未達成であったコピー用紙は、裏紙使用が浸透した事と、一般廃棄物も、ゴミとして処分した紙類を、溶解再生に回す事により削減する事が可能となり、結果、今期目標を達成する事が出来た。

電気使用量についても、一昨年薄板事務所でLED照明に入替えた事により効果があった。倉庫部1F事務所でも昨年より採用し、効果が出ている。引続き、他部門においても改装時に検討されたし。

以上の様に、日々の努力の成果により、着実に効果が出てきている。今後も未達成の項目について、全社で取組みながら、一つ一つ解決して行きましょう。

村山鋼材株式会社
代表取締役社長 村山 和雄